

平成 22 年度事業計画

財団法人豊田市国際交流協会（Toyota International Association: TIA）は、昭和 63 年 10 月の設立以来、「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本柱とし、地域の国際化を推進してまいりました。

平成 22 年度は、市民とともに更なる国際化を進めるため、平成 21 年度に続き 10 月 1 日の「国際の日」の事業を一層充実させ、多くの市民の参加を図ってまいります。

また、多文化共生の更なる充実のため、次代を担う外国人の子どもたちに対する教育支援や英語相談員の配置等の新たな事業にも取り組んでまいります。

公益財団法人への移行については、賛助会員制度の立ち上げと併せて、平成 23 年 4 月を目標に着実に準備を進めてまいります。

厳しい経済状況は、当面続くことが予想され、財団法人を取り巻く環境が大きく変わりつつありますが、経費の削減に一層の努力をするとともに、ボランティア、関係団体、事業所等との連携をより密にし、時代に即した事業を積極的に行うことで、市民の皆さまのご期待に応えてまいります。

1 交流事業

(1) 国際親善使節受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深める。下記以外の団体から申入れがあれば随時検討の上、受け入れる。

ア ウェイン州立大学（米国デトロイト市）

イ 桜花学園大学留学生（韓国）

(2) International Educators to Japan (IEJ) プログラム受入事業

海外進出日系企業の駐在員子弟を受け入れている現地公立学校の教師を日本に招待するプログラムへの協力。デトロイト市などからの教師を豊田市で受け入れ、ホームステイ、市内の学校訪問等を実施する。

時 期 平成 22 年 7 月 1 日（木）～ 3 日（土）

受入人数 15 名

(3) World Campus International (WCI) 受入事業

前身である Up With People の精神を引き継ぎ、ホームステイや地域活動などを通じて参加者の国際感覚やボランティア精神、リーダーシップ能力を養うとともに、市民との国際交流の場を提供する。

時 期 平成 22 年 8 月 6 日（金）～ 12 日（木）

受入人数 20 人程度

(4) ナショナルデー

とよたグローバルスクエアにて、世界各国の文化や生活を紹介する機会を年12回、日曜日の午後に設ける。在住外国人や市民にボランティア活動の場を提供し、フレンドシップ事業の理念である市民主体の国際交流の継承と発展に寄与する。

(5) 「国際の日」事業の開催

T I Aが設立された10月1日を「国際の日」として、豊田市の市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することができるように各種の事業を行う。

ア 多文化共生推進討論会

多文化共生に関する最新的话题を専門家を交え多方面から議論

時 期 平成22年10月1日(金)

イ キャンドルナイト

国際平和・環境をテーマにした多文化ステージと広場を開設

時 期 平成22年10月1日(金) 夕方～

ウ 「私の国際」募集と発表会

国際に関する作文を募集し、発表を行うことで、国際についてともに考える機会とする。

時 期 平成22年10月2日(土)

エ 世界のことばカードの配布

国際の日の給食に合わせて、様々な国の言葉のカードを小中学生に配布

時 期 平成22年10月1日(金)

オ 市内観光モデルコースの作成と紹介

来訪外国人がいつでも、一人でも楽しめる観光モデルコースを作成・紹介

カ 多文化カレンダーの作成

外国人住民との共生を促進するため「多文化カレンダー」を作成し、異文化の理解を図っていく。

キ 国際の日パネル展

国際交流や多文化共生に取り組むボランティアやNPO法人等の活動を紹介するパネル展を開催

時 期 平成22年10月1日(金)～3日(日)

(6) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体とともに開催し、交流事業の多様化を図る。随時、内容検討の上実施する。

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳や国際交流・支援など多文化共生を実践していく人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開する。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上を図る事業を開催する。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人又はグループボランティアとして年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する人には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図る。

・個人ボランティア	通訳・翻訳 交流企画・推進ボランティア 業務サポート（図書整理など） ホームステイ・ホームビジット
・グループボランティア	
国際交流	オープンハート、日本文化紹介
国際協力	ほづみ会
在住外国人との交流・支援	E-IFF、日本語サロン、 Alpha日本語教室、 日本語教室はじめのいっぽ
学習・情報提供	ひらがなういずゆー、 海外生活体験者グループ

イ ボランティア意見交換会の開催

TIAの事業展開状況、ボランティアグループの活動状況の情報共有、また意見交換を通じ、課題解決に向けて開催。TIAの諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すとともに、ボランティア活動環境の整備に努める。

ウ 日本語支援ボランティアオリエンテーション講座

日本語支援ボランティアを初めて行う人を対象に、年間を通してオリエンテーションを開催。市内外国人の現状や日本語学習の進め方を実践的に学ぶ。

時 期	平成22年4月～随時
対 象	講座終了後にボランティア活動のできる市民

(2) 外国人多言語相談事業

各種団体と連携しながら、外国人が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりを推進する。平成22年度は従来のポルトガル語相談、中国語相談の体制に加え、雇用状況の悪化に伴い急増している外国人からの相談対応と求職者の雇用創出を目的に、新たに英語相談と夜間ポルトガル語相談を実施する。

(3) 通訳派遣事業

外国人住民が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に通訳者を派遣する。また、増加する企業やホテルなどからの依頼に対しても、緊急のケースに限り有料で派遣する。通訳人材バンクでは、ボランティアの更なる確保と対応言語の充実に努める。

(4) 翻訳事業

市役所などの公的機関に提出する文書など公的書類に限り、翻訳者を確保する。増加する至急の翻訳依頼に対応できるよう、対応スタッフの整備を進める。

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組が行われている国際理解教育プログラムについて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行い、国際理解教育を推進する。また依頼に応じ、市職員や一般市民を対象とした国際理解教育講座を企画・開催する。

(6) 子ども英語交流補助ボランティア

豊田市教育委員会と協力して、小学校で行われている英語学習の補助をするボランティアを募り、各学校へ派遣する。

時 期 平成22年5月～随時

対 象 18歳以上で普通自動車運転免許を持っており、子どもに英語のゲームや発音指導をしてくれる市民

(7) 国際協力機構（JICA）ボランティア説明会開催事業

JICAと連携し、海外ボランティアに興味を持つ市民への情報提供の場とする。年に2回開催。シニアや日系ボランティアについても対応する。

時 期 平成22年4月17日（土）午後2時～4時、
平成22年9月

(8) 外国人子弟教育支援事業（新規）

不況により、学習支援の場を求める子どもたちの入室が増加傾向にあるNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳スタッフを雇用し派遣することにより、外国人を含む子どもたち全体の教育環境の改善に努める。

時 期 平成 22 年 4 月～
派遣対象 保見地区で外国人の子どもの学習支援を行う NPO 法人や小
学校の放課後学習支援クラスなど

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施する。

時 期 前期：平成 22 年 4 月～ 9 月 毎週土曜日全 20 回
後期：平成 22 年 10 月～平成 23 年 3 月 毎週土曜日全 20 回
ク ラ ス 入門～初級レベルの 4 クラス 各クラス 20 名程度

(2) 国際理解教育セミナー

人権や平和など地球規模の問題への理解を深め、解決のため実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとし、参加体験型のセミナーを行う。

開催頻度 年 3 回程度

(3) 外国語講座

ア ハンゲル講座

依然注目度の高い隣国・韓国。本講座では入門レベルのハンゲルを学ぶ。昼間講座と夜間講座を実施する。

時 期 前期：平成 22 年 4 月 7 日（水）～ 7 月 28 日（水）
後期：平成 22 年 12 月～平成 23 年 3 月

イ 中国語講座

市内外国人登録人数が第 2 位であり、注目が高まる中国の文化理解を図るとともに、日本人と中国人の友好親善のきっかけづくりの場とする。

時 期 前期：平成 22 年 4 月 6 日（火）～ 7 月 27 日（火）
後期：平成 22 年 9 月～

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルのスペイン語講座を開催することで市民のラテンアメリカ諸国に対する理解を進める。

時 期 未定

エ その他外国語講座

上記以外の外国語講座について、市内のニーズや講師の確保に応じて選択し、いずれも 3 か月を 1 ターム程度で開催する。

時 期 未定 ポルトガル語ほか 2 講座

(4) 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

災害時における通訳・翻訳ボランティアの確保を図り、多言語の登録者の更なる増加につなげる。また、登録ボランティアとの連携を視野に入れながら、外国人防災体制の整備に寄与できるような取組も同時に進めていく。

時 期 平成22年10月～

対 象 日本語及び外国語でコミュニケーションができる市民

(5) 小学生国際理解教育学校招待プログラム

市内の小学生を招いて国際理解教育を実施する。国際理解教育に詳しい大学生を中心とした市民グループが授業の運営を行う。各小学校からの申込を受け、グループとスケジュールを調整し実施する。

対 象 市立小学校の児童(4年生～6年生、平成22年度は7校を予定)

(6) 緊急日本語講座

経済不況により、求職中の外国人労働者を対象に基礎的な、及び今後のキャリアアップにつながるような日本語が身につく学習の場を提供する。昼間の受講者の減少により、平成22年度は試行的に夜間クラスを設置し、教室運営にあたる。

時 期 平成22年4月13日(火)～ 毎週火、木、金曜日

人 数 20名×3レベル(入門・初級・上級 曜日別に設置)
×2クラス(昼・夜) 120名

(7) とよた日本語学習支援システム支援

平成20年度より開始された「とよた日本語学習支援システム」(豊田市から名古屋大学への委託事業)のシステムコーディネーターへの活動場所を提供するとともに、豊田市と協力しながら、外国人住民に対する日本語学習の支援を実施する。

(8) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種芸術・文化紹介事業を類似の団体とともに開催し、研修啓発事業の多様化を図る。随時、内容を検討のうえ実施する。

4 情報収集・提供事業

(1) T I A機関誌発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行する。国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布する。

発行回数 年4回(4月、7月、10月、1月)

発行部数 3,000部/1回

(2) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報誌に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載する。

発行回数 24回（毎号掲載）

発行部数 約152,000部／1回

(3) 各種情報提供

本協会主催の各種事業について、協会ホームページを通じて情報提供を行なう。

(4) T I Aホームページの運営

多言語による情報提供について、多言語相談スタッフの活用を視野に入れ、提供できる情報の量と質の拡充を図る。特に生活に役立つ情報や観光情報など外部の機関と連携して情報収集を進める。

(5) ライブラリー、新聞・雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために、必要とする図書、雑誌、新聞、資料、ビデオ等を収集・提供する。

(6) 公衆インターネット端末、無線LANの設置

多言語対応公衆インターネット端末と無線LANを活用し、とよたグローバルスクエアを訪れる多くの外国人や市民への情報提供サービスの向上を図る。

(7) 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとする。また、多言語の情報・国際理解のイベント等の案内を収集・提供する。

5 国際交流団体育成事業

市民団体やボランティア団体等が実施する国際交流事業、国際協力事業、多文化共生事業等に対し、後援、助成を始めとした支援を行う。

(1) 草の根の国際交流の推進

内 容 とよた国際交流市民会議の開催

時 期 平成22年4月～平成23年3月の間で随時

(2) 助成金事業

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力を目的とした新規事業への支援を行う。また、案内を多言語で行い、外国人グループの活動の発掘、活性化も図る。

募集期間 平成22年5月1日（土）～12月26日（日）

対 象 平成23年3月末日までに実施・完了し、実績報告まで可能な事業

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組

外国人住民が国籍や言葉の違いに関係なく、多様な価値観が共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度の見直しなどの検討、関係部署との連携に取り組む。

また、経済状況の厳しい昨今、特に外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、多文化共生を内包した国際化の推進や外国人住民へのサポートに努める。更に、教育委員会や学校・NPO法人等との連携のもと、外国人子弟教育支援事業（新規）を通じて支援を行う。

(2) その他の調査・企画事業の取組

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を実施する。

7 とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応のほか、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場としてとよたグローバルスクエアを運営する。

8 その他 ボランティアグループなどの活動計画

T I Aは各グループに対し、活動環境の整備と必要な個別の支援を実施する。

(1) 国際交流

ア オープンハート

各種ホームステイにおけるコーディネートを行う。

ウエイン州立大学（米国デトロイト市）

桜花学園大学留学生（韓国）

イ 日本文化紹介

外国人への日本文化紹介（茶道・書道・華道・着付け・折り紙等）

(2) 国際協力

ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座の実施。

(3) 在住外国人との交流・支援

ア E-IFF

英語サロンの開催、英語によるガイドツアーの企画・実施

その他随時通訳・翻訳活動の展開

イ 日本語サロン

毎週水曜日の日本語教室開催、学習者のための託児、子育て支援

時 期 前期 平成22年 4月～9月

後期 平成22年10月～3月

ウ Alpha日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（もちつき、おいでんまつりへの参加など）の実施

時 期 平成22年5月～ 8月

平成22年9月～12月

平成23年1月～ 4月 の計3期

エ 日本語教室はじめのいっぽ

毎週日曜日に入門・初級レベルに特化した日本語教室を実施する。

時 期 前期 平成22年 4月～9月

後期 平成22年10月～平成23年3月

(4) 学習・情報提供

ア 海外生活体験者グループ

海外生活サロン（海外の日本人学校の情報を共有する会） 年1回

イ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語（ポルトガル語・英語）表記も含め提供する。1,200部、年3回発行。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布する。

(5) T I A 自主サークル

ハンガル・スペイン語・ポルトガル語・中国語・英語の既存の自主サークルの活動を支援するとともに、新たな自主サークルの設立に向けた支援を行う。

(6) ブラジル人自助組織支援

外国人住民の半数を占めるブラジル人当事者が作る自助グループについて、円滑かつ効果的な活動ができるようサポートを行う。